

岩手教区報

第400号
 立教189年4月1日
 天理教岩手教務支庁
 盛岡市馬場町3-40
 TEL 019-622-7962
 FAX 019-623-9597



教区報400号を迎えて
 主事・広報部長 高橋邦之

『岩手教区報』は本号で第400号の節目を迎えました。平成5年1月に創刊した本教区報は現在、教区役員が輪番で執筆を担当する巻頭言をはじめ、教区内の諸行事の報告記事とその告知、そして、経験豊かな先生方の信仰論が綴られている信仰随想などで構成されています。

第300号から現在までの変遷を辿ってみたいと思います。平成30年1月から、中田俊次元教区長先生に信仰随想『法楽』を4年間ご執筆いただきました。豊富な経験と知識をもとに、神一条の信念に根ざしたお話が様々な視点から書かれており、今読み返しても色褪せない秀逸な読み物でした。同年9月、従来のB5判からA4判に変更し、文字も拡大してより読みやすいように配慮しました。令和2年6月には、巻頭ページにQRコードを配置し、教区支部情報ねっこの閲覧と過去の教区報をダウンロードできるようにしました。コロナ禍においては、行事の縮小や中止を余儀なくされたため、記事が極端に少なかったことから、やむを得ずページ数を削減するなど対応に苦心したことも記憶に新しいところです。

近年は、特筆する行事の報告記事を抽出し、道友社

本社に「お道のニュース」として送稿し、『みちのとも』と『天理教ホームページ』に掲載していただいています。その記事を目にする毎に月々の達成感を感じ、広報部員一同の勇みの種にもなっています。

毎月の編集の作業中に、教区報のファイルから、ページを捲って過去の記事を探すが多々あるのですが、図らずも間違って記載していた箇所を見つけてしまうことが時折あります。なんとも言えない気恥ずかしさを感じますが、直ちにその箇所を修正して再保存するよう心掛けています。歴史をひもとく時などは、インターネットの検索に頼ることが多い昨今ですが、従来の紙媒体の方が即効性がある場面も少なくありません。歴史を正確に書き記しておくことは、次代に対する当代の責務であります。より正しく、よりお道のにをい溢れる教区報作りにも今後尽力し、文書伝道の一翼を担っていきたいと思います。

最後に、お寄せいただいた原稿に、加筆訂正を加えたことで、執筆者の意図とは異なる文面になったことが多々ありましたことを、誌面を借りて深くお詫び申し上げますと共に、長きに渡ってご支援ご協力賜りました教区諸氏に、心からのお礼を申し上げます。



「はこび」

「櫃割さんは墓参りはされていませんか」と尋ねてきたのは、本部のある研修会のスタッフ仲間だった。私は、「故人の魂は五十日祭を終えたらかんにだいに飛んで行き、親神様に抱きしめられていくものと信じています。故に、教会の祖霊殿にも墓地にも居られないと思っと思っていますから、年に2、3度清掃に行くくらいです」と答えました。

その方は、名古屋にある日野系の教会長さんでしたが、「私もそういう思いだったのですが、数年前、ある先生から、『親とか大切な故人の月命日にはなるべく御礼の墓参りをした方がいいですよ。お墓に魂は居なくても、親の元へ運ぶという行為は天が見ておられますから。その行為を続けていけば、神さんがいじらしいと思われるのか、経済的にもご守護を頂けるようになってきますよ』と教えられ、ちょうど教会普請で苦

勞していた時でもあり、実行に移されたと言います。そして5年ほどが経過した頃、普請も無事に済み、教会経営も順調に行きはじめてたと教えてくれました。思うに、安楽な教会経営をされている教会はごく少数かと思えますし、大方は日々苦勞を楽しみに懸命に教会活動を展開されていると思えます。私のところもそうした部類ですから、毎月の墓地参拝ならその気になれば出来るし、ご守護を頂戴できるならとすぐに実行してみました。今年で18年目になります。初代布教所長(祖母)と初代会長(父)の月命日に、月二回の墓参りを続けています。家内は実家の両親の墓参りをしています。これまで際だった変化の姿はありませんが、18年前の汲々とした状況からは、いくらか脱してきているという実感があります。

「運ぶ」という言葉からすぐに連想されるのは、榊井伊三郎先生が、教祖から母の身上は救からんと言われても、3度もお屋敷に運んで「救からんものを、何でも言うて、子供が親のために運ぶ心、これ真実やがな。真実なら神が受け取る」とお救い頂いた私の大好きな逸話です。『逸話篇』16子供が親のために「運ぶが道の肥と論そ」(26・7・16)「小さい処から大きく成るは運ぶ理か

らという。運ぶ処受け取る。一つ誠治まれば、思い掛けない理寄りて来る」(24・8・7)とも教えられます。いずれにしてもおぢばに運ぶ、上級に運ぶ、病人さんの所に運ぶ…、そこにたすけ一条に根ざした深い思いがあれれば、神様に受け取って頂けると思えます。くれぐれも「このくらい運び、これくらい尽くしている居るのに…」(24・11・15)、「日々運ぶ。やれ暑かった、えらかった言えば受け取る事は出来ん」(25・7・13)というような不足の心は持たないよう気をつけたいと思います。

行事予定 【4月分】

- 1日 役員会議 (10時)
- 11日 春のあらきとよりよう合宿 (12日)
- 少年会例会 (18時)
- 12日 学生担当委員会例会 (19時)
- 26日 女子青年例会 (10時)
- 29日 全教一斉ひのきしんデー
- 30日 婦人会例会 (10時)



立教189年「全教一斉ひのきしんデー」
「かしまの・かりもの」を心に
「手一つにひのきしん」

ひのきしんは、親神様のご守護を身に感じ、その感謝の心を日々の態度や行いに表すご恩報じの実践です。

全教一斉ひのきしんデーは誰もが参加しやすい全教行事です。当日は一人でも多くの教友と共に、手一つにつとめさせていただきます。

会場一覧

【九戸支部】	
4月29日8時半	洋野町立中野中学校
9時	川尻海岸
9時半	洋野町立大野小学校
【二戸支部】	
4月29日6時	浄法寺診療所
9時	田代平道路
9時	北福岡分教会
9時半	一戸町河川公園
11時	金田一分教会付近
4月29日9時半	盛岡城跡公園
【盛岡支部】	
4月29日9時半	盛岡城跡公園

4月29日9時半	沼宮内分教会
5月3日6時半	盛岡市大通り商店街
5月4日9時半	岩手教務支庁
5月5日9時半	特老ホームあんずの里
5月16日9時半	もりおかこども病院

【三陸支部】

4月29日9時半	国立公園浄土ヶ浜
9時半	釜石市八雲公園
9時半	吉里吉里分教会周辺
4月29日9時	北上市第1分団第1部
10時	花巻小学校
10時	遠野市鍋倉公園

【花巻支部】

4月29日9時	北上市第1分団第1部
10時	花巻小学校
10時	遠野市鍋倉公園

【奥州支部】

4月29日8時半	金ヶ崎診療所
8時半	JR陸中折居駅
10時	江刺総合 コミュニティセンター

【県南支部】

4月29日10時	桜保育園
10時	吉野森公園
10時	陸前高田大野海岸
10時	特老ホームひなた苑
10時	愛与布教所前道路



献血推進委員会

「献血推進研修会」報告

教区厚生部は、3月1日(日)午前10時より教務支庁において、献血推進研修会を開催し、19人が参加した。

今回は、岩手県赤十字血液センター献血推進課推進係長川上寛正氏を講師に迎え、献血の必要性やその現状について、わかりやすく説明していただいた。その後の質疑応答では、参加者から様々な質問が寄せられ、有意義な約1時間の研修会となった。

現在、40代50代の献血者が多いというお話から、今後の献血事業を支えるためにも若年層への働きかけの重要性を痛感した。

来たる5月31日(日)、教務支庁を会場に「献血ひのきしん」を実施しますの、県内各地から一人でも多くの方のご参加とご協力をお願いいたします。



青年会

「青年会ひのきしんデー」報告

教区青年会は3月8日(日)、三陸支部の大槌町吉里吉里海岸において、「青年会ひのきしんデー」あの日を忘れない」を実施し、会員ら24人が参加した。

親神様、教祖、祖霊様を遥拝後、午前10時から砂浜のゴミを拾いを行い、約1時間で終了した。その後地元飲食店にて昼食をとり、解散となった。



事務所備付け書類の写し
提出のお願い

新年度になり、県庁へ事務所備付け書類の写しの提出時期となりました。法人教会は5月支部例会までに、役員名簿、財産目録、収支決算書を各支部へご提出下さい。※6月1日教区締切



教区青年会春のあそびつりよう入会宿

日時	4月11日(土) 13時
場所	教務支庁
講師	門間道明・門盛分教会長

※詳しくは募集チラシをご覧ください

天理教婦人会 第108回総会

総ての会員がおちばへ人を誘っておちばへ一別席者とともに

式典 4月19日(日) 午前9時30分
本部中庭 南・東礼拝場前 西境内地

記念行事
支部の集い 式典終了後
講演会 4月18日(土) 午後5時
第二食堂(第五食堂 特別)
東講堂(旧別席場 特別のみ)
東右第一棟4階講堂(同時通訳あり)
東左第五棟4階講堂

別席